

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	733	市営住宅維持補修事業	会計	01	一般会計	
基本施策	30	伊賀市らしい住まいと居住環境を創造する	款	08	土木費	
施策	3	公営住宅の整備充実	項	05	住宅費	
			目	01	住宅管理費	
			細目	101	住宅維持管理経費	
			細々目	02	市営住宅維持補修事業	
基本計画該当頁	121	担当部課	コード	603500	評価者氏名	高崎 義昭
行革大綱の重点事項番号		名称		鳥ヶ原産業建設課	連絡先	59 - 2294 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	市営住宅入居者 (※対象件数)	市営住宅を適正に維持し入居者が快適に使用できる。
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市営住宅管理条例
事業内容	修繕依頼があった箇所の対応を行う。	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H21	H22
修繕依頼件数	件	目標	1	目標	1
		実績	0	実績	2
		目標	—	目標	
		実績	—	実績	
		目標	—	目標	
		実績	—	実績	
		目標	—	目標	
		実績	—	実績	

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( )
2 配置(予定)人員	0.1 人
3 年間運営費	62 千円
4 市内の類似施設	他支所管内市営住宅

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
要修繕箇所対応割合	修繕が必要な箇所を分母とし、修繕実施箇所を分子として修繕の対応割合を指標とした。	%	目標 100	目標 100	100	100
			実績 100	実績 100		
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	入居者の責任が及ばない維持補修経費は管理上必要である。
有効性	4	市営住宅が適正に維持され、入居者が快適に使用できる。
達成度	4	予定どおり達成できた。(計画して行う修繕ではなく、迅速な現場対応が出来るか否かが達成度の評価である。)
効率性	3	発生主義に対応する最低予算の確保である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	統合	新築建替後11年のため、大規模な修繕は発生していないが、維持補修全般的に本庁建築課で対応することが最善策と考える。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託	↔	修繕料		0	修繕料		62	修繕料		150	修繕料		150
工事	↔												
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	0	事業費計(A)	Σ	62	事業費計(A)	Σ	150	事業費計(A)	Σ	150
事業投入人員		人件費(B)	0.1 人	720	人件費(B)	0.1 人	720	人件費(B)	0.1 人	720	人件費(B)	0.1 人	720
フルコスト (A)+(B)				720			782			870			870

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額
Aの財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
	受益者負担	
	その他	62
	一般財源	150
	計	212
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	住宅家賃
		住宅家賃
		住宅家賃